

# 社会系/基礎科目

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
経済学A	経済学の考え方を身につける	高橋 真悟	1 年次前期
講義の目的	経済学Aでは、経済を構成する家計（消費者）や企業（生産者）といった経済主体の行動、または市場における価格メカニズムなどを扱う「ミクロ経済学」という経済理論の考え方を学んでいきます。		
到達目標	この講義を通じて、日常生活に溢れる経済学的要素を身につけ、賢い消費者として行動できるようになることを到達目標とします。そして企業がどのようなことを考えながら企業活動を行っているかを理解できるようにします。		
講義内容	経済というとおカネのイメージが強いと思いますが、経済活動はモノやサービスをつかって売り、それらを消費する一連の活動を指します。この中でおカネは、モノやサービスをつくる「費用」や「価格」において大事な役割をもち、労働者にとっては給料やボーナスという形で「やる気」とも直結しています。経済学Aでは、これらの内容を身近な例を踏まえて紹介し、楽しみながら経済学を学んでいきます。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション（授業概要・運営方法の説明）	
	第2講	経済学における費用の考え方（1）～サンクコスト	
	第3講	経済学における費用の考え方（2）～機会費用～	
	第4講	経済学における費用の考え方（3）～比較優位～	
	第5講	経済活動とやる気（1）～インセンティブ～	
	第6講	経済活動とやる気（2）～モラルハザード～	
	第7講	経済活動とやる気（3）～逆選択～	
	第8講	市場における価格（1）～価格差別～	
	第9講	市場における価格（2）～裁定～	
	第10講	市場における価格（3）～囚人のジレンマ～	
	第11講	経済活動と将来（1）～共有地の悲劇～	
	第12講	経済活動と将来（2）～割引現在価値～	
	第13講	経済活動と将来（3）～ネットワーク外部性～	
	第14講	総復習（1）キーワードの復習	
	第15講	総復習（2）練習問題の復習	
方法指導	講義はプリントを中心に行います。また、毎回授業内課題として映像資料を踏まえた論述問題に取り組んでもらいます。		
授業外学習	授業前の事前学習として、次回扱うキーワードがどのようなものかを簡単に調べておいてください。事後学習としては、キーワードの具体例を説明できるように復習しておいてください。		
成績評価方法	本試験（筆記試験）60%、平常点（授業内課題）40%		
テキスト	特になし。毎回プリントを配布します。		
書籍参考	吉本佳生監修『「出社が楽しい経済学」DVDブック（第1～4巻）』日経BP社、2009年。		
事項記			